

第12回「杉田玄白賞」募集要項

☆趣旨

若狭小浜は、長い歴史の中で多くの偉人・先覚者を輩出しており、中でも杉田玄白先生は、わが国最初の本格的な医学解剖書である「解体新書」を発刊し医学の進歩に大きな足跡を残されると同時に、「医食同源」の思想を展開されました。

その小浜には、奈良時代から宮廷に食材を提供した全国でも数少ない「御食国」(みけつくに)としての歴史と伝統と、小浜藩医であった郷土の偉人杉田玄白先生の功績にふさわしい進歩的な取組や研究または活動の中から功績顕著な人や団体を表彰します。

☆主催

小浜市

☆対象

(テーマ)

1. 食と医療に関する進歩的な取組・研究を行い、実績をあげている方。
2. 食と健康増進に関する進歩的な取組・研究を行い、実績をあげている方。
3. 食育と地域活動に関する進歩的な取組を行い、実績をあげている方。

☆応募

- ・規定の用紙(杉田玄白賞申請書)を使用してください。
- ・論文リストとリスト内資料5編以内で各11部、あるいは審査に優良と考えられる活動資料を5編以内で、各11部添付してください。
- ・応募者の申請内容は、主催者に帰属するものとします。
- ・申請用紙は、小浜市のホームページからダウンロードできます。

URL■<http://www1.city.obama.fukui.jp/>

小浜市公式ホームページ⇒観光・歴史・文化⇒歴史⇒杉田玄白賞

〒917-8585 福井県小浜市大手町6-3 小浜市教育委員会文化課

TEL 0770-53-1111 内線 445

FAX 0770-52-3223 E-Mail■rekishi@city.obama.lg.jp

☆日程

- ・募集開始 平成25年7月8日(月)
- ・締切日 平成25年8月16日(金) …当日消印有効
- ・審査 平成25年11月上旬
- ・表彰・講演会 平成25年12月14日(土)

☆審査

- ・平成25年11月上旬に開催する審査委員会において行います。
- ・審査結果につきましては、応募者に通知します。

☆表彰

- ・杉田玄白賞 [表彰状及び賞金50万円]
- ・受賞者には、表彰式の際に取組・研究または活動についてのご講演をお願いします。

☆第1回「杉田玄白賞」受賞者（応募22件）

宮崎市介護老人保健施設ひむか苑 栄養管理室長 黒田 留美子 氏

氏は、管理栄養士として食べ物が口から食道に入るまでの流れを研究し、かんだり飲み込んだりする力が衰えても、おいしくかつ安全に食べる事が出来る介護食の研究に長年専念され、「高齢者ソフト食」を開発されました。

この黒田氏の研究と取組みは、その高評価はもとより杉田玄白の医食同源の理念、そして本市の推進する食のまちづくりにも通じるものがあることから選ばれました。

☆第2回「杉田玄白賞」受賞者（応募8件）

WHO 循環器疾患予防国際共同研究センター長 家森 幸男 氏

循環器系疾患は「栄養(食事)により遺伝子の支配を克服して病気の予防が可能であり、日本食が世界の健康に大きく貢献しうる」ことを証明した研究・取組みが第2回「杉田玄白賞」に選ばれました。

☆第3回「杉田玄白賞」受賞者（応募16件）

青梅市観光協会長（元青梅市長）田辺 栄吉 氏

蘭学史の研究ならびに杉田玄白を始め多くの医人達の業績研究や医跡を探索し、数々の調査結果をまとめ有益な成果を残され、広く普及・周知に努めている取組みが第3回「杉田玄白賞」に選ばれました。

☆第4回「杉田玄白賞」受賞者（応募8件）

名古屋市立大学大学院医学研究科教授 郡 健二郎 氏

尿路結石の発生機序を分子レベルで解明し、その機序は動脈硬化に似ており、生活習慣病のひとつとして捉え、食生活による改善により予防できることを示した研究・取組みが第4回「杉田玄白賞」に選ばれました。

☆第5回「杉田玄白賞」受賞者（応募10件）

京都大学大学院医学研究科教授 中尾 一和 氏

抗肥満ホルモンであるレプチンに関する展開研究を実践し、過食の時代に激増する特に肥満症・メタボリック症候群・糖尿病等の予防・治療に向け、基礎研究から臨床応用に発展させた取組みが、第5回「杉田玄白賞」に選ばれました。

☆第6回「杉田玄白賞」受賞者（応募14件）

杉田玄白賞 新居浜市食生活改善推進協議会会長 秦 榮子氏

減塩・貧血改善運動、男性の料理教室、郷土料理の伝承など、先進的に長期に渡り取組まれてきた、地域に根ざした食育運動が、第6回「杉田玄白賞」に選ばれました。

杉田玄白賞 奨励賞 岐阜大学教授 桑田 一夫氏

タンパク質の構造をコンピューターで解析することにより、牛海綿状脳症（BSE）などの原因となる異常プリオンの治療薬を見出す研究が、第6回「杉田玄白賞 奨励賞」に選ばれました。

☆第7回「杉田玄白賞」受賞者（応募15件）

杉田玄白賞 医療法人玄真堂川崎整形外科病院理事長 川崎 真人氏

日本で初めて西洋医学書を訳した「解体新書」を著すのに尽力した杉田玄白、前野良沢ら蘭学の歴史の研究、玄白の養生論の研究、当時のオランダの薬膳料理や正月料理、薬草風呂の再現・広報活動等が、第7回「杉田玄白賞」に選ばれました。

杉田玄白賞 奨励賞 京都大学医学部附属病院小児科講師 依藤 亨氏

多くの健康な新生児の骨の状態を調べ、うち20%の骨軟化児が血中ビタミンD欠乏状態にあり、中でも母乳栄養児にその割合が高いことから、現代の若い母親がビタミンD欠乏状態にある可能性を見出した研究活動が、第7回「杉田玄白賞 奨励賞」に選ばれました。

☆第8回「杉田玄白賞」受賞者（応募16件）

杉田玄白賞 公立大学法人福井県立大学 理事・副学長 赤羽 義章氏

福井県特産の伝統的水産加工食品であるマサバへしこの独特の食味は、遊離アミノ酸とペプチド・乳酸等が寄与することを明らかにし、また動物実験の結果、へしこの熱水抽出エキスに、血圧上昇抑制作用や脂質代謝改善作用を有することを示した研究活動が、第8回「杉田玄白賞」に選ばれました。

☆第9回「杉田玄白賞」受賞者（応募8件）

杉田玄白賞 畿央大学健康科学部健康栄養学科 教授 山本 隆氏

味覚と食行動の関係について、科学的に詳細な活動記録や分析をおこない、さらに、食嗜好性に関する調査研究を実施することで、幼児期から様々な食べ物の味を知るためには日本人本来の、和食中心の食事を幼児期においしく食べさせる食育の重要性を解明し、広く情報を発信している研究活動が、第9回「杉田玄白賞」に選ばれました。

☆第10回「杉田玄白賞」受賞者（応募22件）

杉田玄白賞 早稲田大学先進理工学研究科博士課程2年 平尾彰子氏

体内時計の遺伝子と栄養の関係について、動物実験を行い、食を取り入れた体内時計による疾患の予防・治療法である時間栄養学の確立と薬に変わる食品等の追求を提唱している研究活動が、第10回「杉田玄白賞」に選ばれました。

☆第11回「杉田玄白賞」受賞者（応募16件）

杉田玄白賞 奨励賞 独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所
水産物応用開発研究センター長 村田昌一氏

魚類(イワシ)・海藻類(ワカメ)について、動物実験を行い、それぞれの機能性を解明しました。また、それらを組み合わせて摂取した相乗的効果も解明し、水産食品を中心とした多種多様の食材で構成される日本型食生活への見直しを積極的に推進している研究活動が第11回「杉田玄白賞 奨励賞」に選ばれました。

杉田玄白賞 奨励賞 東京大学総括プロジェクト機構総括寄付講座「食と生命」
特任研究員 大谷りら氏

妊婦の栄養環境について、動物実験を行い、妊娠期間中のタンパク質栄養の摂取量により、成長後の子、そして、その孫にも、世代を超えて継続して、生活習慣病発症に影響することを初めて明らかにした研究活動が第11回「杉田玄白賞 奨励賞」に選ばれました。

第12回「杉田玄白賞」申請書の記入要領

- 記載事項が多い場合は同じ様式用の用紙を追加してください。
- 文字は楷書で記入してください。
- 様式が同じであれば、パソコン、ワープロ作成でもかまいません。
- 申請用紙は、小浜市のホームページからダウンロードできます。
- 申請者(団体の場合は代表者)の証明用顔写真データ(鮮明な写真を必ず添付すること、写真現物可、その場合は返却不可)を提出してください。
- 必要な添付資料は、5部以内とし、各11部添付してください。
なお、提出いただいた資料は返却いたしませんので、ご了承ください。

【様式1】

- 提出
 - ・ どちらかに○をしてください。これまで玄白賞に申請したことがある場合は、申請した回を記入してください。
- 主体
 - ・ どちらかに○をしてください。
- 活動分野
 - ・ 該当するものに○をしてください。
- 情報媒体
 - ・ 該当するものに○をしてください。
- 申請者(団体の代表者)
 - ・ 申請される方の住所・氏名等と勤務先および住所等について記入してください。
- 職歴(団体の場合、代表者の方の職歴を記入)
 - ・ 従事した職業ごとに△△年■月～△△年■月と記入してください。

【様式2】

- 学歴(団体の場合、代表者の方の学歴を記入)
 - ・ 学校ごとに△△年■月～△△年■月と記入してください。
- その他の役職歴(団体の場合、代表者の方の職歴を記入)
 - ・ 申請された方が団体等の役職に就任されている、あるいは就任されていた場合は、記入してください。
- 表彰歴(団体の場合は団体で受賞した表彰のみ記入)
 - ・ 過去に受賞した事がある叙勲・褒章を含む各種表彰について記入してください。

【様式3-3-2】

- 取組・研究または活動の概要(100字以内の文章で)
 - ・ 行っている取組・研究または活動の要点について記入してください。中でも特記すべき内容などをわかりやすく、簡潔にまとめてください。
- 継続年数
 - ・ 行っている取組・研究または活動の継続年数を記入してください。
- 具体的な取組・研究または活動の内容
 - ・ 具体的に記入してください。

【様式4】

- 取組・研究または活動の成果
 - ・ 全体の成果について記入してください。また、論文リストとリスト内資料5編以内で各11部、あるいは審査に優良と考えられる活動資料(取組・研究または活動の成果を示す写真や資料・著書等)を5編以内で、各11部添付してください。

【様式5】

- 将来における取組・研究または活動の計画
 - ・ 現在、具体的に予定されていることについて記入してください。

【様式6】

- この様式は推薦者がある場合に記入してください。(無ければ提出は不要)
- 推薦者
 - ・ 推薦者の氏名、住所および役職を記入してください。
- 推薦理由
 - ・ すぐれている点や評価すべき点等の推薦する理由を具体的に記入してください。

第12回

杉田玄白賞 募集!



若狭小浜は、長い歴史の中で多くの偉人・先覚者を輩出しており、なかでも杉田玄白先生は、わが国最初の本格的な医学解剖書である「解体新書」を発刊し、医学の進歩に大きな足跡を残されると同時に、「医食同源」の思想を展開されました。

その小浜には、奈良時代から宮廷に食材を提供した全国でも数少ない「御食国」(みけつくに)としての歴史と伝統と、小浜藩医であった郷土の偉人杉田玄白先生の功績にふさわしい、進歩的な取組や研究または活動の中から功績顕著な人や団体を表彰します。

対象(テーマ)

1. 「食と医療」に関する進歩的な取組・研究を行い、実績をあげている方
2. 「食と健康増進」に関する進歩的な取組・研究を行い、実績をあげている方
3. 「食育と地域活動」に関する進歩的な取組を行い、実績をあげている方

日程

【募集開始】	平成25年7月8日(月)
【締切日】	平成25年8月16日(金) …当日消印有効
【審査】	平成25年11月上旬
【表彰】	平成25年12月14日(土)

主催・審査・表彰

【主催・審査】

- 小浜市が主催し、審査にあたっては、審査委員会を設立しています。
- 平成25年度11月上旬に開催する審査委員会において行います。
- 審査結果につきましては、応募者に通知します。

【表彰】

- 杉田玄白賞 [表彰状及び賞金50万円]
- 受賞者には、表彰式の際に取組・研究または活動についてのご講演をお願いします。

応募・宛先

- 規定の用紙(杉田玄白賞申請書)を使用してください。
- 論文リストとリスト内資料5編以内で各11部、あるいは審査に優良と考えられる活動資料を5編以内で、各11部添付してください。
- 応募者の申請内容は主催者に帰属するものとします。
- 申請用紙は、小浜市のホームページからダウンロードできます。
- URL <http://www1.city.obama.fukui.jp/>
小浜市公式ホームページ⇒観光・歴史・文化⇒歴史⇒杉田玄白賞

【宛先】

- 〒917-8585 福井県小浜市大手町6-3
小浜市教育委員会 文化課
- TEL 0770-53-1111 内線445 FAX 0770-52-3223
- E-Mail rekishi@city.obama.lg.jp